

「あなたに気持ちを伝えたいよ」

僕は特別支援学校教員の宮田俊也といいます。
2009年2月、脳幹出血で倒れました。主治医の先生は脳幹出血によりもたらされる深刻な結果を、ありのままに同僚のかっちゃんこと山元加津子さんに伝えました。

「先生、でも大丈夫です」かっちゃんは主治医の先生になぜか、そう答えたそうです。

病院のスタッフの皆さんや周りの人のおかげで、僕は回復してきました。それでも意識が戻ることはないと言われていました。しかし、かっちゃんは僕に意識があることを信じて、二人で意思伝達の方法を模索する日々が続きました。そして意思伝達装置やスイッチの工夫などによって今では伝えたいことを伝えられる術を得ました。

そもそも人見知りで、他人と話をすることが得意ではなかったのですが、コミュニケーションの手段を失うことの恐ろしさを身をもって体験しました。意識があるのに、言葉を発することのできない僕はまるで透明人間で身体的位置などの不具合を訴えたくても訴えられません。それ以上に自分自身がここにいるという存在を気付いてもらえないこと、他人に分かってもらえないことの孤独感と絶望感は相当なものでした。



レッツチャットとレッツリモコンでいつでも自由にテレビが見れるようになりました！



首上げリハビリ中です！

今の僕の目標は、自在に動く身体に戻ることです。かっちゃんの鬼のリハビリ(笑)のおかげで、日々の身体を取り戻すための道を歩み続けています。

様々な経験とリハビリを通じて痛感したことは、自分が何を感じ、何を考えているかが、相手に「伝わる」ということの大切さです。コミュニケーションがもうとれない、と思われる方でも、もしかしたら意識はあるかもしれません。どうぞ皆さん、ご家族や友人・知人の方で、意思の疎通ができないと思われる方がいらっしゃいましたら、語りかけてみてください。そして、もし気持ちが通じたら、あらゆる方法で意思をくみ取って下さい。

僕の願いは、様々な方法や意思伝達装置によって一人でも多くの方に気持ちが通じあう日常が送れるようになることです。僕も、そのために日々活動してまいりますので応援をよろしくお願いします。

平成22年8月 宮田俊也



伝の心(でんのしん)
日立ケーイーシステムズ

<http://www.hke.jp/products/dennosin/denindex.htm>



ハーティーラダー

無料でダウンロードできるソフトです。

<http://takaki.la.coocan.jp/hearty/>

レッツチャット

取扱：パシフィックサプライ(株)

<http://www.p-supply.co.jp/comaid/letschat/index.html>

かっちゃんのお友達からのメール

かっちゃん、ありがとうございます。義妹と今朝は時間をあわせて、おじいちゃんのところに行きました。まず、かっちゃんが言っていたように、「じいちゃん、私たちね、じいちゃんが何でもわかってるって思っていて、だから、今日からね、二人でおじいちゃんと話す方法を見つけることにしたよ。じいちゃんと三人でじいちゃんの気持ちをする方法を探していこう、あきらめないで探していこう」と言ったら、かっちゃん、おじいちゃんが、涙を流したの。かっちゃん、おじいちゃんは全部分かってたよ。全部。みんな聞いてた。待ってたんだよ。待ってたんだね。それで、瞬きができることがわかりました。目が時々瞬きするので、今まででいても気がつきませんでした。「おじいちゃんわかったらまばたきして」と言ったらしてくれて、「一回して」と言ったら一回、「二回して」と言ったら二回できました。義妹と私は「すごい」「すごい」と泣きながら喜んで、じいちゃんを見たらじいちゃんも、表情は変えないのだけど涙を流していました。

(宮ぶーこころの架け橋プロジェクトメルマガより抜粋)

ブログやメルマガで日々を綴っています、どうぞ応援よろしくお願いします。

「宮ぶー」こと宮田俊也の一言ブログ

「宮ぶー、レッツチャットで、今日もお話」

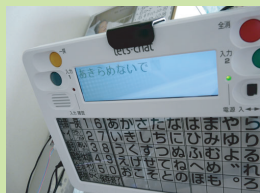
かっちゃんが綴る宮ぶー日記

「宮ぶーこころの架け橋プロジェクト」

「おはなしノート」を紹介するページ

「おはなしだいすき」

～あなたの想いが知りたいです～



<http://ohanashi-daisuki.com>